

INFORMATION



中元文子



兵藤フサ子



船田ナカ



石崎芳雄



田島れん子



大島タマ



木嶋文代



吉井タツ



神田せん



鈴木ヒロ



谷中信治



早乙女チエ



久保田リン



坂本フミ



藤倉サイ



中野サタ



戸邊岩藏



高田タカ



小島ふみ



早乙女キヨ



田沼ヨシ



中村治



青木ハルイ



長ナカ



池澤フミ



森山巳之吉



新村シゲ



館沼ハツ



上野マサ



上岡正夫



島田源



板垣恒雄



早乙女イト



大塚ハル



鮎田キミ



荻野タツ

### 高齢者が気軽に集える「いきいきサロン」の開設者募集

ご自宅などを開放して、高齢者が気軽に立ち寄りお茶や会話を楽める「いきいきサロン」を開設してみませんか？

市では、開設にかかる初期費用と運営経費として補助費用を助成します。ぜひご応募ください。

#### ◎募集要件

- ◆開設者 市内に住所を有する個人(運営責任者2人以上)
◆開設場所 市内の個人宅又は、空き家・空き店舗など
◆開設規模 おおむね65歳以上の方を含んだ5人以上の参加者を見定めること。
◆開設回数 月1回以上 ※開設から3年間は継続すること。
◆募集 11月1日(火)から所定の申込用紙を本 地域包括ケア推進課または各地域包括支援センターに提出。

#### ◎助成内容

- ◆開設補助 上限1万円 ※サロン開設のための初期費用を補助
◆運営補助 月1千円 ※サロン運営のための費用を補助

問合せ先 本 地域包括ケア推進課 ☎(21)2244



100歳おめでとうございます
敬老の日を記念し、栃木市内最高齢者および今年100歳を迎えられる方を訪問し、祝詞と記念品、敬老祝金を贈り長寿を祝いました。 ※敬称略

市内最高齢者(今年度105歳)



石川ヌイ



黒川シナ(希望によりお名前のみ掲載)

今月の注目情報

#### 本 本庁

〒328-8686 万町9-25 ☎21-2316 FAX21-2673

#### 大平総合支所

〒329-4492 大平町富田558 ☎43-9205 FAX43-8818

#### 藤岡総合支所

〒323-1192 藤岡町藤岡1022-5 ☎62-0900 FAX62-4625

#### 都賀総合支所

〒328-0192 都賀町家中5982-1 ☎29-1100 FAX28-0169

#### 西方総合支所

〒322-0692 西方町本城1 ☎92-0300 FAX92-2611

#### 岩舟総合支所

〒329-4392 岩舟町静5133-1 ☎55-7751 FAX55-4910

休日にお困りの時は本庁日直 ☎(22)3535



## 市長通信



### 平成27年度の決算

市民の皆さん、こんにちは。

空は高く澄み渡り、いよいよ秋も深まってまいりました。今年2年に1度の「とちぎ秋まつり」の年。今回も、メインとなる江戸型人形山車の巡行はもちろん、市内の各地域のお囃子・郷土芸能の皆さんや、各小学校の子どもたちの参加、そして多くの方々のご協力により、まつりが行われます。ぜひ、皆さんと一緒に、とちぎのまつりを盛り上げてまいりましょう。

さて、今回は平成27年度の決算についてお話しします。

「決算」とは、市の予算の使い方がどうであったか、収入と支出の割合はどうかなど、市の歳入・歳出の結果等を年度ごとにまとめたものです。

昨年度の決算においては、皆さんの生活全般に関係する「一般会計」と、国民健康保険や下水道事業などの「特別会計」を合わせた市の歳入総額は、約1,131億2,600万円、歳出総額は、約1,081億3,000万円となり、その差額は約50億2,300万円の黒字でした。

このうち一般会計の歳入総額は、約703億9,900万円、前年度比約14億2,300万円、2.1%の増となりました。歳入で最も多いのは市税ですが、税率の改正、地価の下落などにより、前年度と比較して約9億3,100万円の減となり、一方、消費税の税率

改正の影響から地方消費税交付金が前年比約12億4,500万円の増となりました。

また、歳出総額は、約663億9,900万円で、前年度比約14億6,300万円、2.3%の増となりました。歳出で最も多いのは、社会福祉経費などに使われる民生費で、認定こども園施設整備補助金や、障がい者自立支援事業費の増などにより、前年度と比較して約11億2,000万円、5.4%の増となっており、一般会計全体に占める割合は32.6%となりました。

市の財政の重要な指標のひとつである、一般会計の実質収支(単純な収支額から平成28年度に継続する事業費等を差し引いたもの)は34億7,100万円と、前年度に引き続き黒字を確保しました。この黒字分は、翌年度に繰り越すほか、一部は基金として積み立てをします。

市では、市民生活・福祉の向上のため、様々なまちづくりの施策を積極的に推進すると同時に、健全な財政の維持にも力を入れております。

今後、市の財政状況は、社会保障経費の増大などにより厳しくなることが見込まれますが、国や県の補助金の積極的な導入や、ふるさと納税の促進などによる着実な財源の確保と、企業団地の整備や定住人口の増加など、将来にわたる財源の確保につながる施策の推進を図ってまいります。また、市の施設の民間委託による経費節減や事業の見直しなどによる歳出の効率化を図り、新しい栃木市のまちづくりに努めてまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

栃木市長 鈴木俊美

